

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
三木 勉

印刷部数11万2700部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円)
定価 五十円

けんせつ

東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

2月末賃金調査にご協力ください
賃金調査を4月25日まで取り組んでいます。調査用紙のない方は下記のQRコードにアクセスして頂くことができます。



パワービルダー不払い事案 組合とともに交渉

「諦めなくてよかった」

外構一筋の中村さん(日野)

昨年、本支部へ寄せられた不払い相談は264件です。その特徴は不透明で書面によらない口約束の契約で、後に双方の主張が食い違つたというものが多かった。中村さんが取締役を務める有限会社ブリックベースでは、このパワービルダーの不払い事案を発生させました。



不払い解決を喜ぶ、左から長谷部都連書記次長、佐藤本部副主任書記、中村さん、百瀬日野支部書記

昨年、本支部へ寄せられた不払い相談は264件です。その特徴は不透明で書面によらない口約束の契約で、後に双方の主張が食い違つたというものが多かった。中村さんが取締役を務める有限会社ブリックベースでは、このパワービルダーの不払い事案を発生させました。



訪問重ねて話題を広げる春一番拡大 「拡大は努力」と土支田

練馬 加藤さん(左から3人目)を訪問した土支田分会の仲間と担当書記
1月から開始した春一番拡大は、組織の2・5%、2874人を目標に取り組み、全支部の奮闘により、3月15日現在で1833人、拡大率1・60%に到達しています。
練馬支部の2月の加入は約65%が事業所の入社によるもので、個人の加入は1月の20%から35%に増加したのが特徴です。個人の加入動機は土建国保、労働保険の制度利用がほとんどを占めています。このような状況をふまえて、春一番拡大のポイントを制度内容の周知と位置付け、訪問時の対話の切り口にしようとしてオリジナルのチラシを作成して取り組んでいます。
3月1日の行動日には、土支田分会センターに8人の仲間が集まり、杉浦利定分会長

訪問重ねて話題を広げる春一番拡大

中村さんは23年間外構一筋で働いてきました。18年前に独立し、ブリックベースを設立したとき、保険は東京土建にお預けしよう、日野支部で組合加入しました。組合は社会保険などの面で活用してきましたが、不払い相談も受けてくれるとは思っていませんでした。社長が本社まで行って交渉しても放置され、

取り決めた金額を下回る金額が記載、⑤工事完了後、ビルダーから工事残金分の発注書が送られるのを待つが届かない、⑥結果、未払いのまま放置される。この状況が2014年から2年間続いたので、ビルダーに抗議し、一部を回収したものの、200万円余の未払いが残っていました。何とか残額を回収できないかと考えていたところ、一昨年の秋、組合の拡大行動で、日野支部の役員がブリックベースを訪問。不払い事案も組

合で相談できると知り、昨年1月、日野支部に相談、本部と都連の援助も得て、1年間かけて交渉し、この度、証拠が提示できた分、85万円余の支払いを約束させました。
従事者の地位を守るために
中村さんは23年間外構一筋で働いてきました。18年前に独立し、ブリックベースを設立したとき、保険は東京土建にお預けしよう、日野支部で組合加入しました。組合は社会保険などの面で活用してきましたが、不払い相談も受けてくれるとは思っていませんでした。社長が本社まで行って交渉しても放置され、

朝やけ ■「自分も」とには戻らない。誰かが自分のようにってほしくない。
福島県富岡町で東電福島第一原発事故に遭遇した女性が語った。今月9日、国際環境NGOのFoE Japanが主催したシンポジウム、「どう伝える?原発事故のこと」のパネルディスカッションでの発言だ。
■原発事故から8年、現在も福島県の避難者だけで4万人以上の人々がふるさとを追われたままだが、福島県は2017年3月の区域外避難者への住宅提供打ち切りに続き、今月末には家賃支援も打ち切り、南相馬市、川俣町、川内村、葛尾村、飯館村の旧避難指示区域からの避難者への住宅提供も打ち切る。しかし、避難者が抱く放射能への不安が解消されたわけではない。
■シンポジウムでは、被害を「見えない化」する動きにとらわれ対抗できるかを考えた。主催者の一人、満田夏花さんが市民の側から当事者である被害者を支え、ともにまわりに話していくことを訴えた。除染土を農地の造成や自動車道の拡幅に使用するなどの「実証事業」がためらいもなく提案されるくらい、事故被害が風化させられている。先の富岡町の女性は福島県の現状が「何も知られていない。伝わっていない」とも語った。根拠のない「復興」に踊らされず、語り継いで被害を「可視化」しよう。